

番号	解 説	解答例
1	「geopark（ジオパーク）」は、直訳すると「大地の公園」ということになります。ジオ(大地・地形・地質)・エコ(生態)・カルチャー(歴史文化)を総括的にとらえ、保全と教育、持続可能な社会を実現するユネスコのプログラムです。	B
2	イギリスやドイツなどの大西洋に面した国々は、その気候が温和(西岸海洋性気候)なため、日本と緯度が変わらないように感じます。しかし、ロンドンは北緯51.4度と北海道よりも高緯度でロシアのサハリンの緯度とほぼ同じです。ちなみにパリは48.5度、北京は39.5度です。	D
3	新潟県の津南町と県をまたいで長野県栄村と組んで苗場山麓ジオパークを形成しています。	A
4	国立公園や国定公園においては、植物や動物をはじめ、岩石鉱物も採取してはいけません。この規制がかかっていなくても、自然の保全の考えからすれば、極力採取は控えましょう。代わりに写真や記録をとりましょう。	B
5	普及版のハンドブックに載っているスローガンです。どの言葉が入ってもそれらしくなります。雪のふる里で代表されるように「雪」が正解です。このキャッチフレーズは、いつでも口ずさめられるといいですね。	C
6	小滝四ツ廻りの千曲川の地盤をつくる地層は、100数十万年前に活動した毛無山火山起源の火山砕屑物が主体となっている地層でできています。	D
7	苗場山麓で見られる地形の特徴は、河岸段丘です。およそ40万年前から火山灰のローム層で覆われています。この地層には、妙高や黒姫山から降灰した火山灰だけでなく、遠く大山火山や御嶽山からもたらされた火山灰も堆積しています。	A
8	Aの虎斑石は、溶結凝灰岩でもろい性質なので石器には向かない。ガラス質の岩石が重宝される。正解はCの無斑晶ガラス質安山岩です。黒曜石と成分的にはほぼ同じです。	C
9	河岸段丘のでき方には、大地の隆起、地球規模の気候変動による海水準の変化と下刻作用や側刻作用など、諸説あります。大地の沈み込みでは、段丘が沈んでしまいます。	D
10	天代のローム層と同様に、40万年前からの火山灰を挟む露頭です。鳥海山は山形県と秋田県境にそびえる火山です。上空の風の向きからすると苗場山麓には降灰しないと考えてよい。	A
11	溶岩流の流れを追跡すると、浸みってくる溶岩は苗場火山の溶岩となります。溶岩のすき間が水を濾過し、軟水の天然水を生み出します。	B
12	岩石は、安山岩、上半部は溶岩が冷えたときにできる柱状節理の層です。厚さは、50m～100mありますが、200mはない。	C
13	臼歯の大きさや様式から古型マンモスの背丈は4mくらいあったと考えられます。なじもんに置いているモデルのほぼ2倍の大きさになります。	C
14	正解は、Bとなります。中津川が堰き止められ、上流からの運ばれた礫が現在の太田新田や中山集落に流れ、帯状に分布している。	B
15	苗場山麓で見られる古い地層は、結東層とよべれます、正解はDです。地球の年齢45億年からみると、とても新しい地層の多いジオパークということが出来ます。	D
16	上部は約30万年前に噴いた苗場火山の溶岩、下部は約80万年前の鳥甲火山の活動による溶岩の層になります。2種類の溶岩流がみられ、紅葉シーズンには、写真撮影のスポットにもなっています。	A
17	この地域では、カモシカのことを「シン」と呼びます。	B
18	例えばカルデラ湖のような湖に沈んだ未固結の堆積物が地すべりを起こし、折りたたまれた地層の様子をいいます。この露頭では、層内に断層も見られます。	A
19	新潟県内の美しい景観の橋50選の中に、苗場山麓域内に3つ選ばれています。中津川の下流から猿飛橋・見倉橋・前倉橋の3つです。これらは、春夏秋冬、美しい観光スポットになっています。	C
20	長野と新潟の県境にある硫黄川と中津川の合流点やや下流に位置し、変質した玄武岩の岩盤に流れ落ちています。結東層の岩石です。	B
21	接近すると恐怖を感じさせる柱状節理の柱が連なっています。布(反物)を垂らしたように見えることから名付けられました。柱状節理の幅は1.5m以上もあり、長い柱は100mを超えます。	D
22	海底火山の活動で、海水で急冷され、ぐちゃぐちゃにこわれた玄武岩の岩石(水冷破碎溶岩：ハイアロクラスタイト)の岩肌を流れ落ちます。結東層の岩石です。	B
23	苗場山の北麓に分布する湿原です。時期には、木道周辺に多くの花を観察することができます。苗場山の登山でよく見る湿原や池塘があるのは苗場山の南麓に分布しています。	C
24	上野原集落入口近くの岩壁のすきまから冷風が吹き出しています。この岩壁は、「エラクボ平火山岩」と呼ばれ、約500万年前の海底火山の活動期に隆起して浅い海や陸上になったところから吹き出します。	B
25	溶結凝灰岩の表面のレンズ模様が虎の縞模様に似ていることから「虎斑石」という、あだ名でよばれています。讃岐石、赤玉石ともガラス質の岩石です。	A

26	毎年の降雪が雪解けを向えると急崖をすべり落ちます。そのため、急斜面に筋状の溝ができています。筋状地形「アバランチシュート」ともいいます。Dが正解です。	D
27	鳥甲火山の活動で堆積した地層です。ものは、主に火山灰が堆積した地層です。大規模な火山活動があったことを示しています。	C
28	風穴では、冷風に適応したエゾヒョウタンボクなどの植物が生育します。日本海側には雪国に特化したユキツバキが咲きます。降雪のない関東では、ヤブツバキの種になります。	D
29	戦後の食糧難を解決するため、あちこちで水田開発とともに池を作り水源を確保するようになった。水が溜まりやすい地形のため、出口付近に堰堤をつくり、水をためるようになりました。7月ころには、ミズバショウをはじめ湿地帯の植物が花を咲かせます。	A
30	見倉付近を境に南部の信州秋山郷にはユキツバキが見られなくなります。ユキツバキの南限になっています。	D
31	見倉集落の東側にはトチノキの巨木が多く生育する森が広がっています。新潟県内最大といわれるオオトチノキ(直径約2.7m・森の巨人百選)は有名です。一帯は原生的で優れた自然環境が残る貴重な場所です。	A
32	信濃川を一望できる段丘面(米原面)の突端に築かれた中世の城跡です。戦国時代には上杉氏の番城として使用され、「太平記」にも記されている山城です。	B
33	山号は「金玉山正法院」といい、本山は比叡山延暦寺、天台宗のお寺です。平家の守護神である不動明王が祀られていることから、通称「見玉不動尊」と言われています。	D
34	全国農村景観百選にも選ばれている美しい石垣田が広がっています。石垣は、鳥甲山と苗場山の火山噴出物(柱状節理の岩石)の崩れたものを利用しています。	B
35	苗場山の9合目～山頂の湿原には、たくさんの池塘が点在し、その様子が苗代に見えることから「天の苗代」と呼ばれ、豊穰(豊かなみのり)を祈念し伊米神社が祀られています。	C
36	苗場山麓のでき方の最古の地層(結東層)と最新の地形(河岸段丘の形成)を考えると、AかCのいずれかになります。河岸段丘の基盤(下の地層)は魚沼層群ですので、西田尻層は魚沼層群より古いということになります。	A
37	蛇淵の滝、前倉橋、猿飛橋のいずれも結東層に関係した滝になります。Dの中津川橋は、魚沼層群の地層の上にかかる橋です。この橋だけ、他の3つとは異質となります。	D
38	関田山脈は、200万年前ころには激しい火山活動がありました。以下毛無火山・鳥甲火山・苗場火山の順に火山活動が起きました。関田山脈の形成から30万年前の苗場山の活動の順はとらえておくとうい。	C
39	河岸段丘は、地球規模の気候変動を背景に中津川のはたらきによって作られた階段状の地形です。段丘の分布は、中津川の流れと左右対称でなく右岸側(東側)に多く分布している。	D
40	外来種のヒメオドリコソウ(シソ科)は、近年いたるところに繁茂するようになりました。在来のおドリコソウを圧倒しています。田や畑のやっかいものにもなっています。	B
41	冬にボウフラは見るのがないですね。春先には、雪上に多くの昆虫(多くはカゲロウの仲間)を見つけることができます。よくみるとかわいいものです。	D
42	ツキノワグマやニホンカモシカは近年頻繁に目にするようになりました。半世紀以上前、トキは魚沼地方にも棲んでいたようですが、今では、苗場山麓に生息していません。	A
43	3つの説明文は正しいので、文章の中で誤りを一か所発見すればよい。Cの文中で、 <u>段丘面の中央の平坦地</u> の部分が誤っています。この2つの城跡は、敵の侵入をいち早く知るために崖っぷちにつくられました。	C
44	沓野日記を著わした人物は、佐久間象山です。秋山記行や北越雪譜は、雪の降らない江戸の町民に雪国の風俗や民俗、生活などを紹介する書物になりました。	B
45	すべてのサイト等を事務局が一括管理する部分もあるが、継続して事業を推進するためには、維持管理を地域が支える体制づくりが大切です。	A
46	現在、日本ジオパークは、43箇所です。	C
47	2年前までジオエコカルチャーのサイトが混ざっていたものを、地形地質・生態・歴史文化の3つに区分けを行い、Aのように、ジオ29、エコ4、カルチャー4に分けた。	A
48	定説では、Cです。学問の進展で変わることも考えられます。	C
49	100字以上書いていなくても、 <u>主張が示されていれば正解とする。</u>	
50	100字以上書いていなくても、 <u>主張が示されていれば正解とする。</u>	